



Deal Capsule

化学セクターにおけるM&A取引

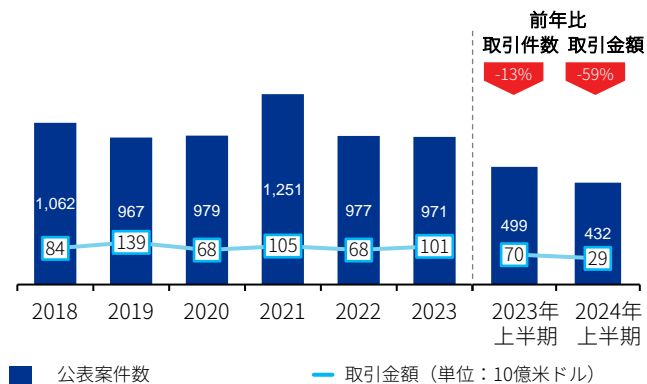
—

2024年9月

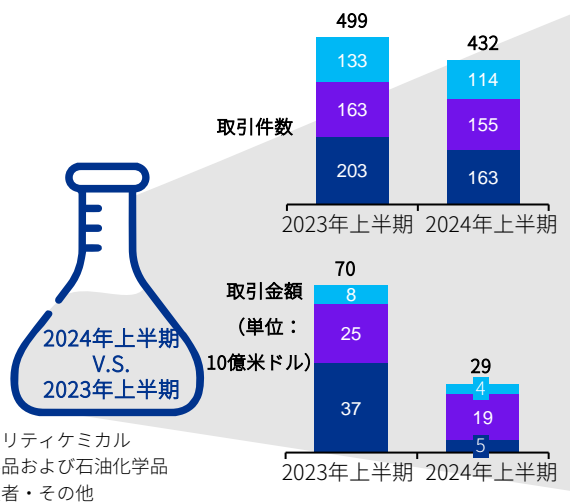


化学セクター概況

化学セクターにおけるM&A取引の推移



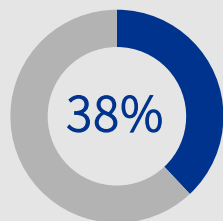
注: 取引金額は小数点以下を切り捨て
出処: Refinitiv, Mergermarket, Capital IQ, KPMGドイツによる分析



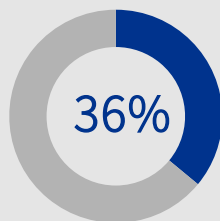
注: 取引金額は小数点以下を切り捨て
出処: Refinitiv, Mergermarket, Capital IQ, KPMGドイツによる分析

M&Aハイライト

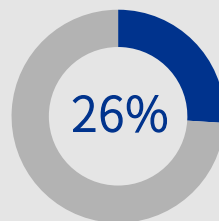
M&A取引の中心カテゴリーはスペシャリティケミカルで、取引全体の38%を占めた



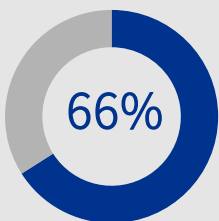
基礎化学品および石油化学品が36%と続き



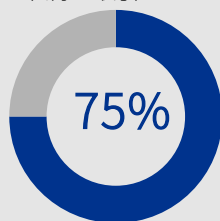
販売事業者・その他は26%であった



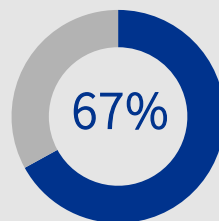
化学セクターをターゲットとするのは主に戦略的投資家で、取引全体の66%



小規模取引が大部分を占め、金額が公表された取引のうち75%が50万ドル未満の取引であった



一方、取引金額上位10件の合計額は取引総額の67%を示す



出処: Refinitiv, Mergermarket, Capital IQ, KPMGドイツによる分析



2024年上半期は、経済的・地政学的な不確実性の増大がもたらしたインフレ圧力を主要な要因としてM&A取引が減速した。全サブセクターにおいて取引が減速する中、企業は資産価値を高めるため、革新的かつ持続可能なケイパビリティをポートフォリオに組み込むことに資金を振り向けた。主要中央銀行が金融緩和政策を行うと予想されるため、2024年下半期にはM&A活動が再び活発化するとともに、融資環境が改善し、資本市場での調達が可能になる可能性がある。

Christian Klingbeil
Partner, KPMG Germany

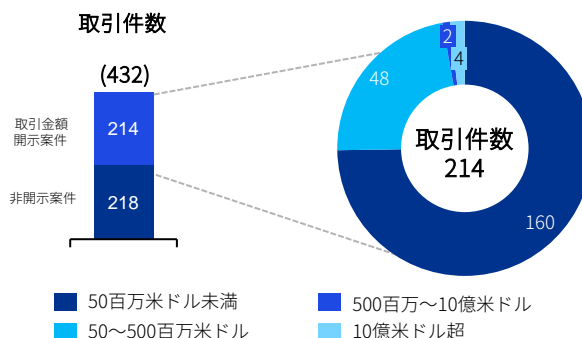
化学セクター概況

取引の背景

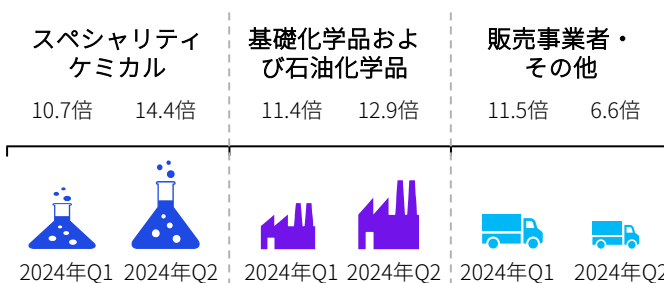
- 2024年上半期の取引件数・金額の減少の要因として、事業環境全体における不確実性の高まりを投資家が不安視していることが考えられます。
- エネルギー価格の高騰、厳格な金融政策、インフレの継続、資金調達コストの高さといった厳しいマクロ経済環境が、取引の減速を一層助長しました。
- 2024年上半期は、国内資産の獲得を重視する企業の動きを反映して国内取引が大半を占めた一方、大規模なクロスボーダー取引も多数行われ関心を集めました。
- また、革新的かつ持続可能なケイパビリティを既存ポートフォリオに組み込んで資産価値を高めようとする動きも顕著でした。
- 主要中央銀行が金融緩和政策を行うとの予想から、2024年下半期にはM&A活動が活発になるとともに、融資環境が改善し、資本市場での調達がしやすくなる可能性があります。

2024年上半期のM&A概要

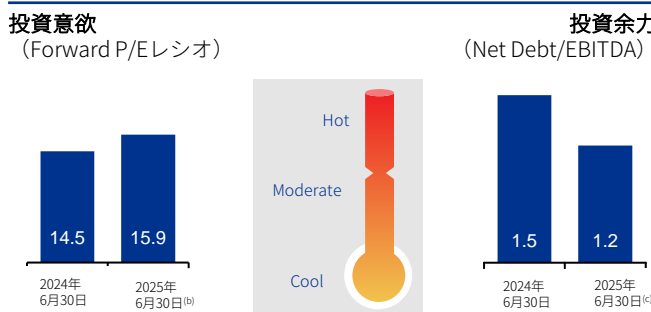
公表案件数内訳（規模別）



サブセクター別上場企業のEBITDAマルチプル^(a)



Deal Thermometer 2024年上半期



注： (a) 各四半期末の90%分位を指す
(b) Forward P/Eレシオ：2024年の時価総額を2025年の予想純利益で割った数値
(c) 投資余力：2025年の予想ネットデットを予想EBITDAで割った数値
出処：Refinitiv、Mergermarket、CapitalIQ、KPMGドイツによる分析

- スペシャリティケミカル、基礎化学品および石油化学品企業のバリュエーションは前四半期から上昇しました。マルチプルの上昇は、M&A取引の緩やかな回復を示している可能性があります。
- ただし販売事業者・その他の分野ではマルチプルは低下しました。
- KPMGのDeal Thermometerによれば、化学業界におけるM&A取引は安定的に推移する見通しです。投資意欲の緩やかな回復と借入水準の若干の低下がこの好環境を牽引しています。

今後の見通し

2024年上半期は取引が低迷しました。しかしファイナンシャルパイパーの資金が潤沢であることと、サステナビリティ・ESG目標への強いコミットメントの影響でポートフォリオ再編の必要性が増していることから、今後は勢いを増すでしょう。ただし市場の変動、高金利、長引くエネルギーコストの高騰が投資意欲に水を差す可能性もあります。

化学セクター概況

2024年上半期に公表された
化学セクターの大型案件^(a)



2024年上半期に公表された案件のうち
世界上位10件の取引金額：

193億米ドル



うち化学セクターの取引
金額が占める割合：

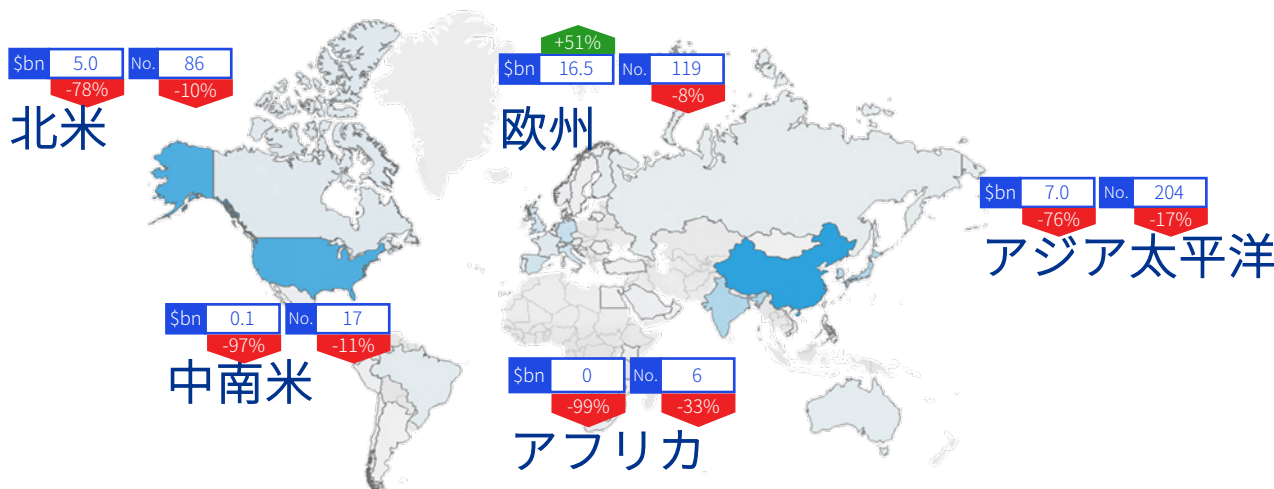
67%

買収企業	被買収企業	分野	事業領域	案件公表日	状態	取引金額 ^(b)
Abu Dhabi National Oil Co.	Covestro AG	基礎化学品・ 石油化学品	ポリウレタンおよび ポリカーボネート	2024年6月24日	合意 ^(c)	12.5
Apollo Global Management Inc.	US Silica Holdings Inc.	販売事業者・ その他	商業用シリカ	2024年4月26日	保留中	1.9
Compagnie de Saint-Gobain S.A.	Fosroc, Inc.	スペシャリティ ケミカル	機能化学品	2024年6月27日	保留中	1.0
CAGPC Pte.Ltd.	Shell Energy & Chemicals Park Singapore	基礎化学品・ 石油化学品	工業用有機化学品	2024年5月8日	保留中	1.0
Orica Ltd.	Cyanco International LLC	スペシャリティ ケミカル	シアン化ナトリウム	2024年2月21日	保留中	0.6
Helmond Holding Group Corp.	Hydrogen Utopia International PLC	基礎化学品・ 石油化学品	廃棄物由来水素 製造技術	2024年2月26日	保留中	0.6
Basell International Holdings BV	National Petrochemical Industrial Co. (owned by Alujain Corp.)	基礎化学品・ 石油化学品	ポリプロピレン	2024年1月16日	完了	0.5
RHI Magnesita NV	Resco Products Inc.	販売事業者・ その他	アルミナ単体 および耐火物	2024年3月29日	保留中	0.4
Esseco Industrial SpA	Ercros SA	基礎化学品・ 石油化学品	基礎化学品	2024年6月28日	保留中	0.4
Kingswood Capital Management, L.P.	Emulsifiers business of Corbion NV	スペシャリティ ケミカル	食品乳化剤	2024年1月26日	保留中	0.4

注： (a) フィナンシャルインベスターは斜体表記
(b) 数字の単位はすべて10億米ドル
(c) 買収提案が提示され10月に合意

出処：Refinitiv、Mergermarket、KPMGドイツによる分析

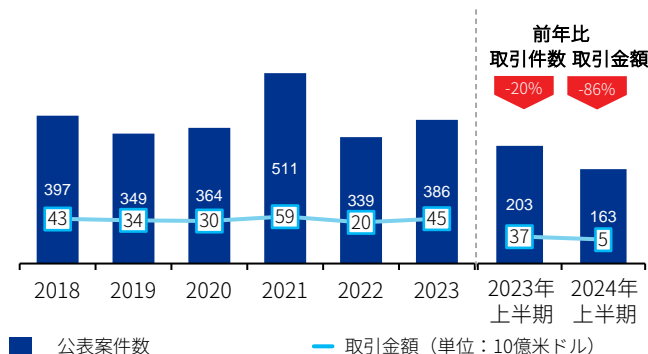
地域別取引件数および金額^(d)



注：(d) 被買収会社の国を取引量に基づき青の濃度で分類
出処：Refinitiv、Mergermarket、KPMGドイツによる分析

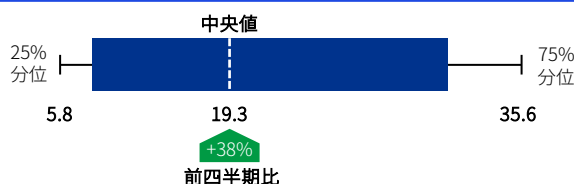


M&A取引の推移(a)



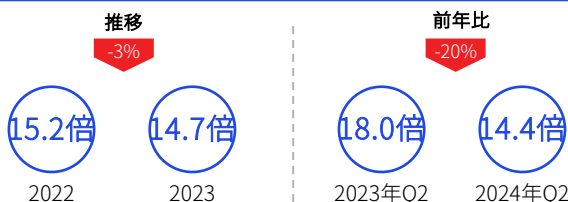
注: (a) 取引金額は小数点以下を切り捨て

2024年Q2の取引金額分布(b)



注: (b) 41件の公表取引金額に基づく (単位: 10億米ドル)

上場企業のEBITDAマルチプル

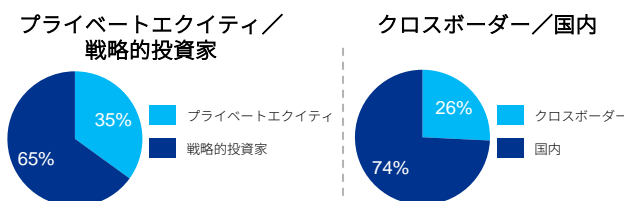


出処: Thomson One、KPMGドイツによる分析

概況

業界全体の傾向と同じく、本分野でも取引件数・金額の減少が続き、それぞれ前年比で20%減、86%減となりました。地政学的な混乱とインフレ継続が、買い手の興味と売り手の事業売却意欲を減退させています。技術革新、地政学的同盟関係の絶え間ない変化、サステナビリティに対する関心の高まりなど、変化の激しい環境において、企業は戦略的にポートフォリオを見直し成長する機会を模索しています。

ハイライト



今後の見通し

スペシャリティケミカル分野のM&A取引は、コスト削減シナジーおよび戦略的資産の取得を目指す動きを受けて緩やかに回復していく見込みです。この動きは、高金利環境においてM&A投資を下支えすると期待されます。

2024年Q2公表案件トップ5(c)

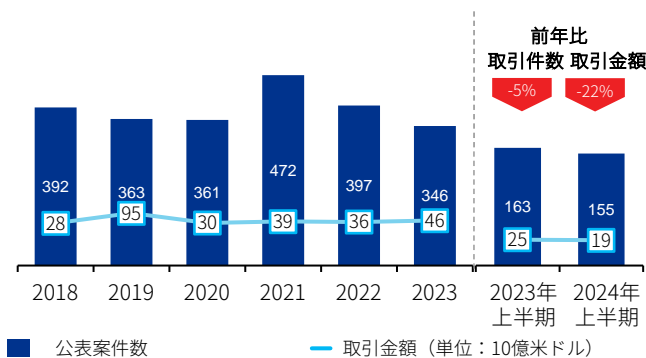
買収企業	被買収企業	目的	取引金額(d)
Compagnie de Saint-Gobain S.A.	Fosroc, Inc.	建設化学品市場における地位強化、中東およびアジア太平洋地域における地理的プレゼンス強化	1.0
SGG Holding SpA	Saes Getters SpA	先進機能性材料の獲得を通じたスペシャリティケミカルポートフォリオの拡大	0.3
Investor Group	HIF Global	対象企業が有する合成燃料施設のグローバルポートフォリオの拡大推進、合成メタノール・合成燃料の市場開発促進	0.2
Arkema SA	Dow Inc-Packaging Laminating Adhesives Business	Dowのフレキシブル包装事業との統合による特殊材料ポートフォリオの強化、北米およびヨーロッパにおけるプレゼンス強化	0.2
Qingdao Development Area Investment Construction Group Co. Ltd.	Xi'an Manareco New Materials Co. Ltd.	対象企業の製品ラインナップの強化および中国市場における地位強化	0.1

注: (c) フィナンシャルインベスターは斜体表記
(d) 数字の単位はすべて10億米ドル

基礎化学品および石油化学品



M&A取引の推移(a)



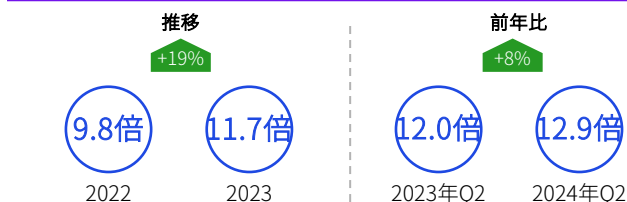
注: (a)取引金額は小数点以下を切り捨て

2024年Q2の取引金額分布(b)



注: (b)32件の公表取引金額に基づく (単位: 10億米ドル)

上場企業のEBITDAマルチプル

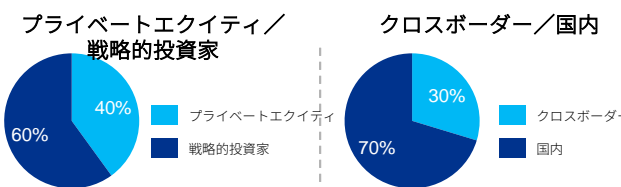
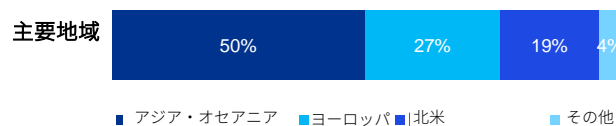


出処: Thomson One、KPMGドイツによる分析

概況

基礎化学品および石油化学品の分野でも取引の減少傾向が続き、件数は前年比で5%減、金額は22%減となりました。減少の要因として考えられるのは、最終用途産業における需要減と、金利およびエネルギーコストの高騰です。企業はノンコア資産の売却に注力し、ポートフォリオの最適化、地理的拡大、生産力の増強を図りました。取引金額はほとんどの地域で前年同期を下回ったものの、ヨーロッパではメガディール1件の影響で増加しました。これはアブダビ国営石油会社がCovestro AGを125億米ドルで買収するという提案で10月に合意に至りました。

ハイライト



今後の見通し

本分野は短期的には逆風を受けるものの、炭素排出削減ソリューションの需要に対応する新製品の発売を受けて、取引が増加する見込みです。在庫調整による足元の逆風は、市場が通常の在庫水準で安定するにつれて弱まるでしょう。

2024年Q2公表案件トップ5

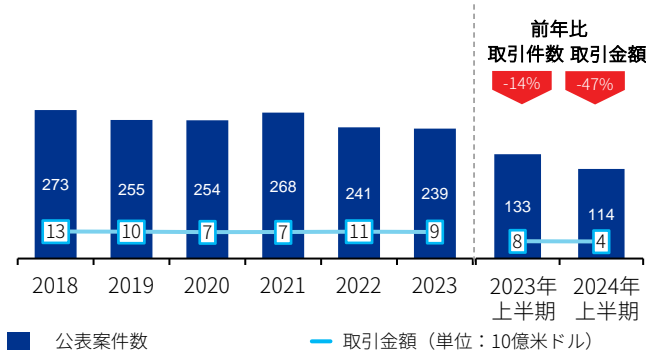
買収企業	被買収企業	目的	取引金額(c)
Abu Dhabi National Oil Co.	Covestro AG	ヨーロッパにおける地理的プレゼンスの強化、製品ラインナップの拡大、プラスチックおよび化学品市場における地位の確立	12.5 ^(d)
CAGPC Pte.Ltd.	Shell Energy & Chemicals Park Singapore	製品・サービスの拡大、東南アジア化学品市場における加工能力の増強と展開強化	1.0
Esseco Industrial SpA	Ercros SA	対象企業の成長計画推進および南欧における事業機会の探索	0.4
Axalta Coating Systems Ltd.	The CoverFlexx Group	既存の製品ラインナップの補完・拡大、生産能力の増強、リフィニッシュ事業の成長推進、北米における地理的プレゼンスの強化	0.3
Suzano SA	Lenzing AG	潜在市場の開拓を通じた成長戦略の推進、サステナブルなセルロース繊維市場における地位強化	0.2

注: (c) 数字の単位はすべて10億米ドル
(d) 買収提案が提示され10月に合意



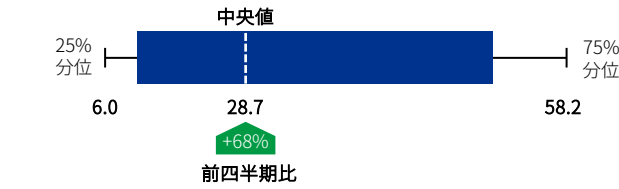


M&A取引の推移(a)



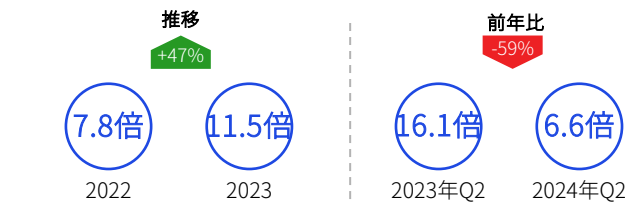
注: (a)取引金額は小数点以下を切り捨て

2024年Q2の取引金額分布(b)



注: (b) 18件の公表取引金額に基づく (単位: 10億米ドル)

上場企業のEBITDAマルチプル(c)



注: (c) 対象企業数が少ないため、マルチプルの変化が一部企業における変化によって歪められている可能性がある。あくまでも参考値として考慮されたい。

出処: Thomson One、KPMGドイツによる分析

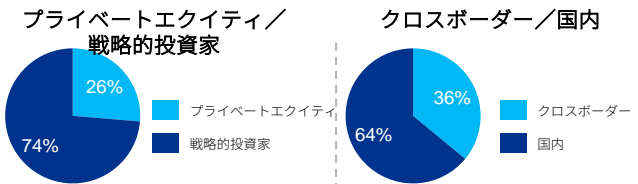
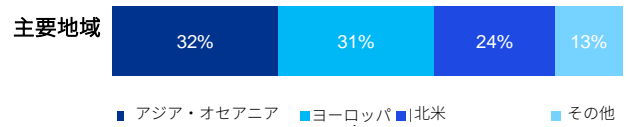
概況

販売事業者・その他の分野も全体の傾向をなぞり、取引件数・金額ともに引き続き減少しました。

これは、地政学的な不透明感に対する投資家の懐疑心に加え、対象会社に対し保守的な価格を提示した中小販売事業者の存在が影響したものと見られます。

この分野では、小規模取引や金額非開示の取引を行う傾向が続いており、業界統合が進行していることが示唆されます。また注目に値する案件として、標準的な取引規模を大きく上回る19億米ドルの取引が1件ありました。

ハイライト



今後の見通し

販売事業者・その他分野の市場は、不安定な状況が続く可能性があるものの、革新的なキャパシティの獲得および製品ラインナップの拡大を目的とした戦略的なM&Aによって成長が期待されます。

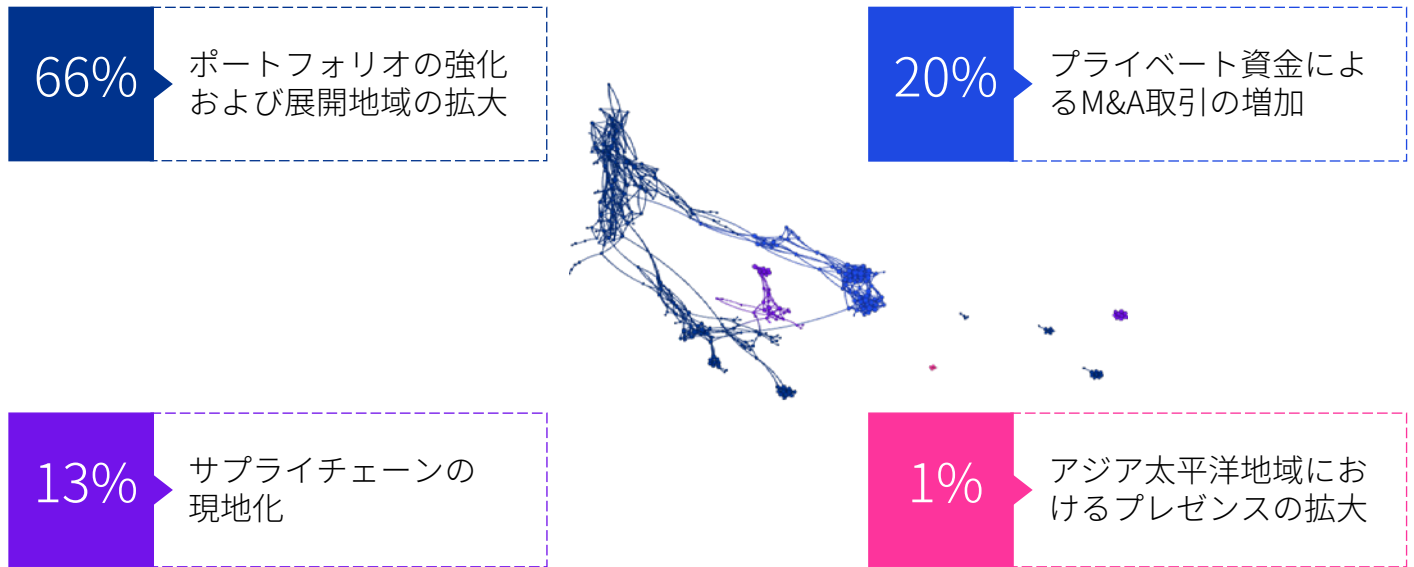
2024年Q2公表案件トップ5(d)

買収企業	被買収企業	目的	取引金額(e)
Apollo Global Management Inc.	US Silica Holdings Inc.	非公開企業の柔軟性を生かし、革新的なキャパシティへの投資を通じて対象企業の成長計画を推進	1.9
GFL International Co. Ltd.	Mali Lithium BV	Goulamina リチウムプロジェクトへの全面的参画および経営権の取得	0.3
Yunnan Yuntianhua Co. Ltd.	Yunnan Phosphate Chemical Group Co. Ltd.	鉱業化学品事業の補完、リン酸塩の生産能力の増強、中国における展開強化	0.1
GFL International Co. Ltd.	Tangshan Sunfar New Materials Co. Ltd.	対象企業の成長計画推進および製品ラインナップの強化	0.1
Hayward Holdings Inc.	ChlorKing, Inc.	スイミングプール水処理技術の高度化、製品ラインナップの拡大、地理的プレゼンスの強化	0.1

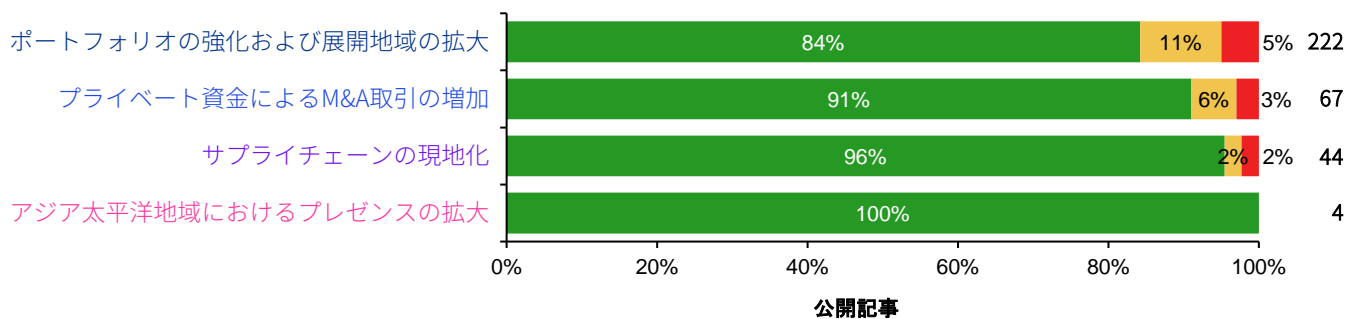
注: (d) フィナンシャルインベスターは斜体表記
(e) 数字の単位はすべて10億米ドル

M&A動向まとめ

2024年上半期に公開された各種ニュース・ブログ記事から抜粋した、化学産業の最新M&A動向を示すキーワード^(a) (n=337)



2024年上半期の化学産業動向に対する意識分析 (n=337)



- 2024年上半期の化学業界におけるM&Aでは、引き続き楽観的な見方が大勢を占めました。化学企業は積極的に取引を行い、製品ラインナップの拡大、グローバル展開、サプライチェーンの現地化を図っています。
- さらに、業界におけるグリーン技術への移行と、アジア太平洋地域での事業展開を強化する動きが、楽観的な見方を一層強めています。
- ただしサプライチェーンの混乱や市場競争の懸念から、一部で悲観的な見方も見られました。

Sentiment summary

Positive	87%
Neutral	9%
Negative	4%

注：(a) Quidの自然言語処理解析 (NLP) に基づく
出処：Quid、KPMGドイツによる分析

本報告書に関する基本事項

本報告書を通じて使用されている取引件数および金額は、2024年6月30日時点でRefinitivのデータベースで提供されている発表日の数字を独自調査により補足したものです。後続の号には発行日以降に入手可能となったデータが反映されるため、過去の号と記載が異なる場合があります。本報告書では少数株主持分の取得、残存持分の取得、資本増強を含む金額公表済みおよび非公表のM&A取引を対象にしており、自社株買いおよび分社化取引は明確に除外しています。各データの合計値と表示された合計値の差異は端数処理の影響によるものです。取引件数および金額は、下記の分野で展開する対象企業を分析して算出しました。

化学品

- 粘土、カオリン、セラミック、耐火鉱物
- 化学および非金属鉱業（燃料を除く）
- 肥料・農薬
- 産業用ガス
- スペシャリティケミカル
- 化学品卸売
- プラスチック、ゴム部品

KPMGのDeal Thermometerは、S&P Capital IQから提供された上場企業の財務データを基にしています。これら上場企業は、上記分野で活動する四半期末の時価総額が10億米ドル以上の企業で、化学セクターでは206社が該当します。

出処

- Refinitiv (Thomson Reuters)
- S&P Capital IQ
- Mergermarket
- 各社プレスリリース



本冊子は、KPMG AG Wirtschaftsprüfungsgesellschaft（ドイツ）が2024年9月に発行した「Deal Capsule」を、KPMGドイツの許可を得て抄訳したものです。翻訳と英語原文間に齟齬がある場合は、当該英語原文が優先するものとします。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点およびそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2024 Copyright owned by one or more of the KPMG International entities. KPMG International entities provide no services to clients. All rights reserved.

© 2024 KPMG FAS Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.

お問い合わせ先



Christian Klingbeil

Partner, Deal Advisory
T +49 89 9282-1284
cklingbeil@kpmg.com



高橋 恵太

KPMG FAS 執行役員パートナー
KPMGジャパンエネルギーセクター
化学セクター統轄リーダー

執筆者

Christine Greupner

Senior Manager, Deal Advisory, KPMG in Germany

Stephan Musfeld

Senior Manager, Deal Advisory, KPMG in Germany

Alexander Bruns

Deal Advisory, KPMG in Germany

Shreya Gupta

KPMG Global Services

Yash Nilesh Mehta

KPMG Global Services